

平成 23 年度再評価対象事業一覧表 (事業採択後、一定期間 (5~10年) が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
	伊万里港 七ツ島地区 重要港湾改修 (港湾施設建設費) 事業 事業主体：県 事業地：伊万里市	現在伊万里港では増大するコンテナ貨物への対応や船舶の大型化、背後地域との良好なアクセスの確保のため、岸壁整備や航路・泊地浚渫、臨港道路の整備等を進めている。 伊万里港七ツ島地区は、県内唯一のコンテナ取扱地区として現在、岸壁(-9m)は、計画延長190m(取付部30m)のうち岸壁(-13m)側の36mを残して既成(平成7年度)しており、現在暫定供用中である。 平成9年に国際定期コンテナ航路を就航以来、現在では5航路が週5便就航しており、近年の船舶大型化に対応するため、国直轄事業により岸壁(-13m)の整備が開始された。 隣接する既設岸壁(-9m)の残りのL=36mを整備することで、2隻同時着岸やふ頭用地の一体化が図られ、コンテナ荷役作業の効率化を目指す。	工期：H19~H24 総事業費：C=22.7億円 全体事業L=296m 岸壁L=36m ふ頭用地整備A=1.5ha 排水工1式 泊地浚渫V=187千m3 補償1式 埋立工1式(V=74千m3) 監視カメラ、照明等施設1式 ① L=36m(-9m岸壁)区間 総事業費：C=8.7億円 事業 岸壁L=36m ふ頭用地整備A=0.2ha 排水工1式 泊地浚渫V=187千m3 埋立工1式(V=9千m3) 監視カメラ、照明等施設1式 ② L=260m(-13m岸壁背後用地区間) 総事業費：C=14億円 (国直轄事業費用除く) ふ頭用地整備A=1.3ha 補償1式 埋立工1式(V=65千m3) ②については、平成22年度の国直轄事業の再評価区間である。	H22年度まで事業費： ① 8億円 ② 11億円(国直轄事業(-13m岸壁)除く) 進捗率： ① 74% ② 79%	七ツ島地区のコンテナ貨物取扱量は、H9より定期航路開設以来順調に伸び続け平成18年には30,873TEU(実入)に達したが、ここ数年はほぼ横ばいの状況となっている。 この原因としては、 ・現在のコンテナ船の入港が週初めに集中しており、沖待ちが発生していること。 ・供用中の岸壁(-9m)では最大1万トン級まで接岸可能であり、近年の船舶の大型化に対応できないこと。 などが考えられる。 そのため、当事業により施設を充実し、問題の解消を図りたい。 また今後、効率的な運営を目指すためコンテナターミナルの更なる民営化も推進していくこととしている。	事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。 ① B/C=3.8 ② H22年度国直轄事業の再評価 B/C=1.1 (国直轄事業-13m岸壁含む)	(コスト削減) 国直轄事業との作業船を共用使用するなどにより回航費の削減に努めている。	新規着手より5年が経過	継続 (理由) ・当事業の岸壁(-9m)L=36mは、隣接する岸壁(-13m)の施工時の手戻り等を考慮し、未施工区間として残していた。 ・そのため、現在実施中の国直轄事業の岸壁(-13m)と併行して整備を行うことにより効率的な事業が図られることから事業の継続が必要である。	

